

中広土192

2014・10・30(木) TEL78-2024 文責:校長

【学校教育目標】 自主・自律

【めざす生徒像】

- 1 学ぶ楽しさを知り、意欲的に根強く学ぶ生徒
- 2 互いを尊重し、高め合う生徒
- 3 心身共に健康で安全な生活を築く生徒

かしわ祭 生徒たちは頑張りました！ 総合発表・合唱も満点



今年は、文化祭終了後に生徒全員での集合写真を撮ってみました。文化祭を終えて満足感にあふれ、笑顔がいっぱいでした。

10月18日の第17回かしわ祭（滝根中文化祭）に際しましては、多くの保護者の皆様においでいただき誠にありがとうございました。今年のかしわ祭のテーマは「絆～増やそう思い出のページをまた一つ～」でしたが、多くの生徒が思い出に残る素晴らしい文化祭であったとの感想がありました。

文化祭での学年発表は、総合学習での体験や訪問で学んだことが中心でした。1年生の福祉体験、2年生の職場体験、3年生の国際理解（もしも世界が100人の村だったら）の発表とも生徒たちがわかりやすく、趣向をこらし発表したり、演じたりする姿に感動しました。午後の合唱コンクールでも、1年生

は各学級18名ながら、大きな声で歌ってくれました。2年生、3年生になるにつれ、声色も大人になり素晴らしい合唱を披露してくれました。また、昼の時間帯に行われた有志発表も会場から大きな笑いをとる楽しい漫才等もあり、大好評を得ました。保護者からは、今年は午前中から最後まで楽しく見ることができたとの多くの声が寄せられました。合唱コンクールでの入賞は次の通りです。

【合唱コンクール】最優秀賞→3年1組
 優秀賞→3年2組 2年1組
 指揮者賞→渡辺〇〇（3の2）、伴奏者賞→橋本〇〇〇（2の2）、校長賞→木村〇〇〇（2の1）

文化庁芸術家派遣事業のコンサート開催



昨日、文化庁芸術家派遣事業による「長谷川ファミリーほのぼのコンサート」を体育館で開催しました。プロの演奏する曲に合わせて踊るプロダンサーの演技も見ることができ、感銘を受けた生徒が多いようです。出演者の中学時代のことも聞くことができ、努力することの大切さも学びました。生徒の感想を右に紹介します。

【生徒の感想】 繊細なバイオリン、それを支えるように心に響くピアノとチェロ、曲全体を包み込むピアノとハープ、軽やかなバレエ、すべてが一つになって体育館に流れ込み、とても感動しました。朗読の「償い」では、朝子さん（今回演奏された代表者）が何度も涙した理由がわかったような気がしました。家でさだまささんの曲を聴いてみたいと思います。「美しい」「悲しい」など今回のコンサートで様々な感情が生まれました。でも、最後の「花は咲く」を演奏しているときの皆さんの楽しそうな表情は忘れられません。私も音楽が大好きで演奏会やコンサートを見てきましたが、その中でも一番心にメッセージが伝わってきて温かい気持ちにさせられました。本当にいい経験になりました。私も好きなことを大人になるまで続けたいです。本当にありがとうございました。（3の1 渡邊〇〇）

来年度の県立高校の定員です！ 船引と磐城桜が丘で40名ずつ定数減

来年度の県立高校の募集定員が17日に福島県教育委員会より発表されました。現在滝根中学校の卒業生が通学している県立高校では、船引高校と磐城桜が丘高校で1学級減（40名減）となりました。特に船引高校は希望者もいたため、多少の影響はありそうです。下表は、滝根中の卒業生が通学している県立高校の来年度の募集定員です。



高校名	学科	定員	高校名	学科	定員
安積	普通	320	清陵情報	情報電子	80
安積黎明	普通	320		電子機械	80
郡山	普通	240		情報処理	80
	英語	40		情報会計	40
郡山東	普通	280	須賀川	普通	200
郡山商	流通経済	120		才情報	40
	会計	80	須賀川	普通	200
	情報処理	80		桐陽	数理科学
郡山北工業	機械	80	田村	普通	200
	電気	40		体育	40
	電子	40	船引	普通	120
	情報技術	40	小野	総合	120
	建築	40	小野平田	普通	40
	化学工学	40	磐城桜丘	普通	280
あ開成	国際科学	200			

※あ開成とは「あさか開成高校」です。

※須賀川高校の学科の才情報とは「オフィス情報科」で商業科のようなものです。

※この表以外にも滝根町から通学可能な学校として、岩瀬農業や平工業、平商業、磐城などがあります。詳しいことは学級担任へお問い合わせください。

田村地区書写コンクール入賞おめでとう！

【特選】1年→鈴木〇〇 3年→会田〇〇、石塚〇〇、竹澤〇〇 【準特選】1年→永山〇〇、村山〇、上田〇〇、三瓶〇〇 2年→富塚〇〇、蒲生〇〇、吉田〇〇 3年→鈴木〇〇、高橋〇〇、佐藤〇〇、橋本〇〇〇、村山〇〇、吉田〇〇、渡邊〇〇、猪狩〇〇、勝沼〇〇、矢部〇、横田〇〇、會田〇〇、蒲生〇〇、高橋〇〇、根本〇〇〇

11月～2月まで完全下校時刻は午後5時30分です！

来週から部活動終了後の完全下校時刻は、午後5時30分となります。それでも暗いので、生徒の皆さんは、周囲の状況に気を配りながら、交通ルールを守り下校してください。

昨日のコンサートで朗読された詩を紹介！

この詩は、実話に基づいてさだまさしさんが書いたもので、交通安全キャンペーンで使用されたり、ある裁判で反省の色が見られない少年を論ずるときに裁判長が、「この『償い』の歌詞だけでも読めば、なぜ君らの反省の弁が人の心を打たないかわかるだろう」と少年の心に訴えたそうです。昨日のコンサートでも朗読されたものです。紹介します。

さだまさし作詞：「償い」

月末になると ゆうちゃんは薄い給料袋の封も切らずに 必ず横町の角にある郵便局へとび込んでゆくのだった 仲間はそんな彼をみてみんな貯金が趣味のしみつたれた奴だと 飲んだ勢いで嘲笑っても ゆうちゃんはニコニコ笑うばかり 僕だけが知っているのだ 彼はここへ来る前にたった一度だけ たった一度だけ 哀しい誤ちを犯してしまったのだ 配達帰りの雨の夜 横断歩道の人影に プレーキが間にあわなかった 彼はその日とても疲れてた

人殺し あんたを許さないと 彼をののしった 被害者の奥さんの涙の足元で 彼はひたすら大声で泣き乍(なが)ら ただ頭を床にこすりつけるだけだった それから彼は人が変わった 何もかも忘れて 働いて 働いて 償いきれるはずもないが せめてもと 毎月あの人に仕送りをしている

今日ゆうちゃんが僕の部屋へ 泣き乍ら走り込んで来た しゃくりあげ乍ら 彼は一通の手紙を抱きしめていた それは事件から数えてようやく七年目に初めて あの奥さんから初めて彼宛に届いた便り

「ありがとう あなたの優しい気持ちは とてもよくわかりました だから どうぞ送金はやめて下さい あなたの文字を見る度に 主人を思い出して辛いのです あなたの気持ちはわかるけど それよりどうかもう あなたご自身の人生をもとに戻してあげて欲しい」 手紙の中身はどうでもよかった それよりも 償いきれるはずもない あの人から返事が来たのが ありがたくて ありがたくて ありがたくて ありがたくて ありがたくて ありがたくて

神様って 思わず僕は叫んでいた 彼は許されたと思っていいたのですか 来月も郵便局へ通うはずのやさしい人を許してくれて ありがとう

人間って 哀しいね だってみんなやさしい それが 傷つけあって かばいあって 何だかもらい泣きの涙が とまらなくて とまらなくて とまらなくて とまらなくて